

多趣味が高じて
天職となりました



ブルーベリーの森 いなべ

観光農園・カフェ経営

今村 謙吾さん

＼ 2027年夏オープン予定 ＼



平屋の一軒家にひとめ惚れして

名古屋市→いなべ市へ

田舎暮らしへの憧れがあり、農業も積極的に勉強していました。7年前に、大安ICと菟野ICが開通し、愛知・岐阜・滋賀とのアクセス、利便性も良かったので、IC付近を中心に家を探していたところ、メイン道路から少し入った、自然が多く森の中に「ぼつんと一軒」行んでいた平屋の家を見つけ、その家に一目惚れをしたことで、いなべ市への移住を決めました。

いなべに移住して良かったこと

農園とカフェがオープンするまでの間、手作りのキッチンカーであちこちに出店しています。その中でいなべ市内のキッチンカー友だちがたくさんできましたが、皆さん、とても温かい方ばかりで友達がたくさんできました。農園に併設するカフェの建物は、元々地元小学校の校舎を移築してあった歴史のある建物。瓦に「学」の文字が刻まれています。古き良きものを大切にす文化も大好きで、そんな物件が残っている、いなべ市が大好きです。

移住を考えている方にひとこと

いなべの人たちは本当に優しく、温かい方ばかりです。“田舎のコミュニティは入りにくい”という心配はまったくありません！むしろ、地域のマルシェやイベントなど、自然に人とつながれる場がたくさんあります。移住してすぐに顔見知りや友達ができる、そんな居心地のよさがいなべの魅力です。

#いなべ

いなべに住むに

休日の過ごし方・お気に入りの場所

自転車も昔から大好きで、移住する前から二ノ瀬峠を越えて、いなべ市までよく遊びに来ていました。今は休日になると、ブルーベリー農園の手入れをしていますが、農園の脇道から眺める鈴鹿山脈や伊吹山の風景は、何度見ても飽きず、「明日も頑張ろう」と思わせてくれます。



サイクリスト仲間と！

今後いなべでどんな暮らしをしていきたいか（目標・夢）

サイクリストが気軽に立ち寄ってひと息つける、カフェ併設の観光農園を計画中です。美しい山並みを眺めながら、ライド途中に立ち寄れるエイドステーションとして、サイクリストたちが集まる新しい“いなべのスポット”を目指しています。いなべの畑は土が良く、自然の力だけで育つ無肥料のブルーベリーを栽培予定。安心でおいしい果実を味わいながら、来園者さんに心も体もリフレッシュしてもらいたい。

